

自作教具の活用事例

【作品名】 サイコロトーク	【学校名】 日立市立日立特別支援学校				
【活用できる領域・教科等】 自立活動	【制作者名】 柳 丈一郎				
【制作の意図】 サイコロを利用し、出た目の内容を話すことで、話すのが苦手な生徒でも話の幅を増やすことや、話す内容を考える機会を設定できる。サイコロ振りを楽しみながら、会話をするものの楽しさを意識できるようになる。	【使用方法】 用紙に6項目記入し、サイコロを振って出た目の内容を発表する。				
【制作上の工夫】 サイコロを、大きく作ることによって投げた目の確認がスムーズにできる。人に当たらないように投げられるスペースに留意する。 あらかじめ、発表する内容を書く時間は、余裕をもって設定しておく。	【見取り図】 <table><tr><td>サイコロトーク</td><td>年</td><td>組</td><td>名前</td></tr></table> サイコロをまわして、出た目を発表しよう ①最近、楽しかったこと。 _____ _____ _____ ②いちばん好きな、ゲームまたはテレビ。 サイコロトークの用紙	サイコロトーク	年	組	名前
サイコロトーク	年	組	名前		
【写真】  発表の様子  サイコロを投げている様子	【使用効果と応用発展】 ・大集団の授業で活用できる。 ・発表することで友達の理解やコミュニケーションを深めることに繋げることができる。 ・サイコロを用意することで、多様なゲームやレクリエーションなどにおいて発展的な活用が期待できる。				
【材料・材質・部品等】 サイコロ（段ボール、紙）					